



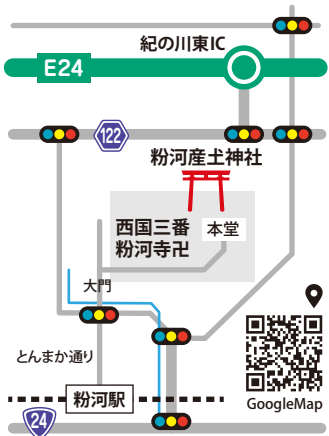
粉河産土神社大祭

粉河祭

和歌山県
無形文化財

紀州三大祭「粉河祭」は、古式に従い渡御がしめやかに行われます。前日の宵祭には村の氏子による「だんじり」が引き廻されます。

たのもしの宮 粉河産土神社



※お車の場合は粉河寺大門前から入り、お近くの駐車場をお使いください(有料)
※社務所を留守にしている場合がありますので、お越しの際は事前にお電話ください。

粉河産土神社

〒649-6531
和歌山県紀の川市粉河2788
電話番号 0736732415
<https://ubusuna.org>



御由緒

粉河寺本堂後方に鎮座する当社は鎮守神として天之忍穂耳命、丹生津比命をまつり、別名「たのもしの宮」と呼ばれています。丹生津比賣命は、上丹生谷にある丹生神社より延暦年間(七八一―八〇六)に、粉河寺の創立者大孔子古の息子船主が粉河寺内に勧請したとされ、また、天之忍穂耳命は同時期に東野にある王子神社から勧請したと伝わります。

戦国時代の粉河寺の境内を描いた「粉河寺参詣曼荼羅」には、当地に六つの社が描かれており「六社壇」と呼ばれています。また『平家物語』には「靈験無双之六祠」と六つの祠(丹生大明神社、若一王子権現、伊勢大神宮、熊野権現、吉野三十八所、三百余社)があったことが記されています。

境内ご案内

